

事業所名 グループホーム小松原

作成日: 平成 22年 10月 20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画作成前の面会時意見、要望を聞いてはいるが、担当者会議に家族さんの参加はしてもらっていない。	担当者会議に家族さんにもできるだけ参加して頂き、利用者さんへより良い生活環境を支援する為、情報の共有が出来る場面作りをする。	介護計画作成前に家族さんと連絡を取り、職員が思う支援法と家族さん、利用者さんが望む支援法に差がない様に話し合う機会を作る。	12ヶ月
2	4	運営推進会議での意見・要望をサービスに活かせる様努めているが、会議中には意見が聞かれない場合もある。	会議の議題(内容)を多様に設定し、更に有意義なものにできる様努め、意見交換、発言がしやすい会議を開催する。	他事業所の会議内容等も参考にし、必要であれば議題に応じた職種・地域の方にも参加してもらえる様依頼する。	6ヶ月
3	33	事業所の方針として医療を伴う終末期支援はしないが、医療を伴わない終末期支援に関して、職員の理解・支援方針の統一が出来ていない。	全職員が共通の方針を持ち、本人さんや家族さんの意見・要望に沿った終末期支援、看取りが出来る様にする。	勉強会等職員が学び、意識統一できる場を設け、利用者さんにとって一番良い終末を迎えられる様に努める。	12ヶ月
4	35	職員が主体の避難訓練は定期的実施しているが、地域の方の参加・協力は得られていない。	周囲は事業所が多い為、日中の災害時には協力を求められる様、地域の方々との交流を増やす。	夜間人手が少ない為、夜間帯を想定した避難訓練に更に力を入れ、非常時に俊敏に対応できる様に努める。また、地域の方々の協力が得られる様、挨拶をする、活動誌を作成する等交流を図り、ホームへの理解を深めて頂く。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。